



2026年1月28日

世界観光指標（World Tourism Barometer） 2026年1月号について

世界観光機関(UN Tourism)が2026年1月20日付で公表した標記報告書の概要を以下の通り御紹介します。

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

[International tourist arrivals up 4% in 2025 reflecting strong travel demand around the world](#)

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）及び全文（有償）をご覧いただけます。

[World Tourism Barometer \(English version\): Vol 23, No 4](#)

2025年の国際観光客到着数は世界的な旅行需要の高まりを反映し、4%増加

2025年の国際観光客到着数（宿泊を伴う訪問者数）は、世界中のデスティネーションが堅調な実績を示したことを受け、前年比4%増となった。

2026年最初に発表された世界観光指標（World Tourism Barometer）によると、2025年の国際観光客到着数は推計15億2,000万人に達し、2024年比で約6,000万人増となった。

これらの数値は、パンデミック前の成長動向への回帰を示しており、2009年から2019年にかけての年間平均増加率は約5%に近い水準にある。この結果は、堅調な旅行需要、主要なソースマーケット（送客市場）における力強い実績、ならびにアジア・太平洋地域のデスティネーションにおける継続的な回復によってもたらされた。また、航空路線の拡大やビザ手続きの円滑化も、2025年の国際観光を後押しした。

UN Tourism のシェイハ・アルノワイス事務局長は「観光サービス分野における高インフレや地政学的緊張に起因する不確実性にもかかわらず、2025 年を通じて旅行需要は引き続き高水準を維持しました。世界経済が安定を維持すると予想され、また、パンデミック前の水準に回復していないデスティネーションが完全な回復を遂げるにつれて、この前向きな傾向は 2026 年にも継続すると見込まれます。」と述べた。

2025 年、アフリカが最も力強い成長を示し、アジア・太平洋地域は回復基調に

UN Tourism が発行する世界観光指標は、地域、準地域(sub-region)及び目的地別に、観光分野に関する包括的なデータを提供している。主なポイントは以下の通り。

- ・世界最大のデスティネーションであるヨーロッパ地域は、2025 年に 7 億 9,300 万人の観光客を記録し、2024 年比 4%増（2019 年比 6%増）となった。西ヨーロッパ（+5%）及び南・地中海ヨーロッパ（+3%）は堅調な伸びを示した。中・東ヨーロッパも力強く回復（+6%）したが、到着数は依然として 2019 年水準を 9%下回った。
- ・**アメリカ地域**（2 億 1,800 万人）の到着数は前年比 1%増となり、地域内ではらつきが見られた。2025 年上半期は力強い回復を示したが、米国の低調な結果などが要因となり、第 3 四半期および第 4 四半期には小幅な減少が見られた。準地域別では南アメリカ（+7%）と中央アメリカ（+5%）が牽引した。カリブ海地域（+0%）の一部のデスティネーションでは、第 4 四半期にハリケーン・メリッサの影響を受けた。
- ・**アフリカ地域**（8,100 万人）の到着数は前年比 8%増となり、北アフリカ（+11%）で力強い伸びが見られた。
- ・**中東地域（1 億人）の到着数**は 2025 年に前年比 3%増を記録し、2019 年比 39%増となり、最も力強い回復を示した。



- ・**アジア・太平洋地域（3億3,100万人）**の到着数は、前年比6%増となった。

ただし、回復が続く中でも、依然として2019年水準を9%下回っている。準地域別では、北東アジアが前年比13%増の伸びを牽引し、南アジアはコロナ前の水準まで回復した。

ほとんどのデスティネーションが、2025年に好調な実績を報告

- ・到着数で見ると2024年に堅調な成長を遂げた後、2025年もほとんどのデスティネーションで好調な実績を維持した。
- ・2025年12か月分の利用可能なデスティネーションのうち、ブラジル(+37%)、エジプト(+20%)、モロッコ(+14%)、セーシェル(+13%)等が二桁成長を示した。11月までのデータを報告しているデスティネーションでも、ブータン(+30%)、アイスランド(+29%)、ガイアナ(+24%)、南アフリカ(+19%)、日本(+17%)等で力強い成長が見られた。
- ・昨年の到着数の増加傾向は、他の業界指標にも反映されている。UN Tourismのデータダッシュボードが示す様に、国際航空便の提供座席キロと旅客交通量はいずれも2025年10月までに7%増加した(IATA)。宿泊施設の全世界平均稼働率は2025年11月に66%に達し、2024年11月と同水準となった(STR社データに基づく)。

観光輸出収入は、2025年に過去最高2兆2,000億米ドルに達した。

月次データによると、2025年を通じて観光客の支出は堅調に推移しており、世界全体の国際観光収入は暫定値で1兆9,000億米ドルと見込まれ、前年比で5%増となった。

入手可能なデータに基づくと、観光輸出収入(国際観光収入及び旅客輸送を含む)の総額は、2025年に推計で2兆2,000億米ドルに達した。
その他の主なポイントは以下の通り。

- ・国際観光収入は、既に好調だった 2024 年に続き、2025 年には驚異的な伸びを示し、多くのデスティネーションで収入の増加率が到着数の増加率を上回った。
- ・2025 年の最初の 10~12 か月間に観光収入の堅調な成長を報告したデスティネーションには、モロッコ (+19%)、韓国 (+18%)、エジプト (+17%)、モンゴル (+15%)、日本 (+14%)、ラトビア (+11%)、モーリシャス (+10%) が含まれる（いずれも現地通貨ベースで算出）。
- ・世界の観光収入上位国のうち、英国及びフランス（ともに+9%）、スペイン (+7%) 及びトルコ (+6%) は、2025 年の最初の 10~12 か月間に堅調な成長を示した（前年同期比）。
- ・国際観光支出に関するデータも同様に強い需要を反映しており、特に米国 (+8%)、フランス (+4%) といった主要な送客市場に加え、スペイン (+16%) 及び韓国 (+10%) において顕著な増加が見られた。

2026 年の見通し：困難な環境の中で成長を継続

国際観光は、アジア・太平洋地域の回復が継続し、世界経済が良好な状況を維持し、地政学的紛争が激化しないことを前提として、2026 年は 2025 年比で 3~4% 増と見込まれる。一方で、現在の地政学的緊張や紛争に伴う不確実性は、2026 年の観光にとってリスクを高めている。

- ・UN Tourism による 2026 年の見通しは、2023 年 (+34%) 及び 2024 年 (+11%) 2025 年 (4% 増) を経て、成長率が通常の水準に戻っていくことを示している。
- ・この前向きな見通しは、最新の UN Tourism 観光信頼指数および専門家委員調査によって裏付けられている。専門家の 58% が 2026 年の実績は 2025 年よりも

「良い」または「大幅に良い」と予測している。（31%は「同程度」、11%は「悪い」と予測している）。

- ・調査回答者は、2026 年に国際観光が直面する可能性のある主な課題として、経済的要因、高い旅行費用、地政学的リスクを挙げた。これらの要因は、専門家全体の約半数によって最も関連性が高いと見なされた。
- ・2025 年には世界的に総合インフレ率は低下したものの、観光関連サービスのインフレ率は過去の水準と比較して依然として高い状態が続いている。こうした背景を踏まえ、専門家委員によれば、観光客は今後もコストパフォーマンスを重視した選択を続けると予想される。
- ・世界経済の明るい見通しと原油価格の下落が 2026 年の観光業の業績を後押しする可能性がある一方で、地政学的リスクや継続する紛争、貿易摩擦、異常気象に起因する不確実性が旅行者の信頼感を損なう恐れがある。
- ・2026 年の国際観光は、堅調な消費者需要、航空ネットワークの拡充、新興市場からのアウトバンドの増加によって牽引されると見込まれる。ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック（イタリア）や FIFA ワールドカップ 2026（カナダ、米国、メキシコ）といった主要な国際イベントも国際観光の促進に寄与するであろう。

関連リンク

[UN Tourism 世界観光指標](#)



○**UN Tourism World Tourism Barometer (世界観光指標) とは**

世界観光指標（バロメーター）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UN Tourism 本部から、年4回を目処に公表されます。UN Tourism アジア太平洋地域事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○**世界観光機関（UN Tourism）について**

UN Tourism は、1975年1月に設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UN Tourism アジア太平洋地域事務所は、UN Tourism の地域事務所として1995年に設立されました。アジア・太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●**お問合せ先（メディア専用窓口）**

※メディアの方は UN Tourism 本部へ直接、英語でお問合せください。

E-mail: comm@unwto.org Tel: (+34) 91 567 8100

○**お問合せ先（メディア以外）**

UN Tourism アジア太平洋地域事務所（一般財団法人アジア太平洋観光交流センター）

担当：吉田

E-mail: info@unwto-ap.org Tel : 0742-30-3880